

令和7年度一般選抜後期日程入学試験
総合問題
採点のポイント

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき、志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。

学部、学科に関わらず、本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、ルール、意思決定の方法、集合知について論じた文章をもとに、的確な読解力、理解力、論理的思考力、文章構成力などを見ることを意図して問いを設定した。

＊解答例はすべて省略した

問1 課題文①において、既存のルールを変更する際、どのような困難があると筆者は考えているか、80字以内で述べなさい。

〔採点のポイント〕

○以下の2点を読み取ったうえで記述している

- ・既存のルールを変更するとルールの正当性が説明できなくなってしまう
- ・その結果、既存の社会が不安定になり、過渡期において「何をやってもいい」という無秩序な状態が出現してしまう

○問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文で説明、表現している

問2 課題文②で述べられている内容を踏まえると、伝統的に村の意思決定の方法として全員一致制がとられていたのはなぜだと考えられるか、過半数制が抱える課題とあわせて120字以内で述べなさい。

〔採点のポイント〕

○過半数制の課題— 少数者がもつ権利や少数者に対する寛容は考慮されていないこと—
を的確に指摘している

○コミュニティの全構成員は生涯を通じて地域に責任を持つことが求められるため、納得して行動することが必要とされることを指摘している

○たとえば、次のような本文の記述を引用し、まとめていてもよい

- ・関係者のエゴイズムがほどよく抑えられた、なるほどと思える一つの意見が採択される
- ・その理由として問題解決のためには全員の納得が重要である

○問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文章で説明、表現している

問3 課題文③下線部に「こうした適応的な社会的学習戦略は、いつもうまく働くわけではない」とありますが、それはなぜだと述べられているか、150字以内でまとめなさい。

【採点のポイント】

○以下の2点を理解している

- ・結果的に、あまり重要ではない行動や、むしろ害になり得る行動まで一緒に模倣してしまうかもしれない
- ・多数派が全体として間違えていることもあり、その場合、多数派同調によって間違いが増幅される恐れがある

○問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文章で説明、記述している

問4 課題文②で述べられている「村の意思決定のしかた」と課題文③で述べられている「集団の知恵」は同等か、それとも異なるものか、あなたの考えを150字以内で述べなさい。

【採点のポイント】

○課題文②に示される「村の意思決定のしかた」について理解している

○課題文③に示される「集団の知恵」について理解している

○上記をふまえ、問いに対する解答として必要な情報を、自分の言葉で的確にまとめ、表現している

○誤字脱字がなく、ねじれのない文で記述している

問5 集団で意思決定する際に、何が大切だと考えますか。課題文①・②・③を踏まえつつ、具体的な場面を想定して、あなたの考えを500字以内で述べなさい。その際、それを大切にすることで生じうるマイナス面も文章に含めること。

【採点のポイント】

○問われていることについて、自身がマイナス面だと考えることを含め、段階を追って、考えを論理的にまとめている

○3つの課題文の内容に触れている

○身近にある具体的な事例、場面を取り上げて論じている

○誤字脱字、ねじれのない適切な文章で自分の考えをまとめ、記述している